

# コミュニティ・スクールだより

令和6年9月号

『地域に誇れる 地域が誇れる 菊西学舎』 「学び合う子」  
(菊川西中、堀之内小、加茂小、横地小、内田小)

## 地域とともにある学校



令和6年度より、菊西学舎にも学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールが始まりました。このコミュニティ・スクールというのは、「地域とともにある学校づくり」、「学校を核とした地域づくり」を合わせて実現させていこうというものです。

社会の多様化、想定外の事象の多発等により、従来のように学校のことは学校だけで対応することが難しくなっています。そのような中、様々な課題について解決や改善に向けて、保護者や地域の方々と協議を重ね、それぞれが当事者として自らができることを行い、学校や地域の活性化を図れるようにすることが、このコミュニティ・スクールでは求められています。

菊西学舎の学校運営協議会委員は19人います。自治会長、元学校評議員、元PTA役員、会社員、社会教育委員、学校長など地域で様々な場面で御活躍されている方々です。

そのみなさんの御出席をいただき、第1回学校運営協議会が開催され、地域・家庭における課題や教育活動への支援について協議して、次のような意見が出されました。

そのみなさんの御出席をいただき、第1回学校運営協議会が開催され、地域・家庭における課題や教育活動への支援について協議して、次のような意見が出されました。

- ・家庭や地域の課題を0歳から考えていく
- ・実際に子どもが歩いているところを見て実態をよく掴む
- ・外部の方との交流や関わりを持つ
- ・学区のねじれがある
- ・学校規模に違いがある
- ・小中学校と幼稚園保育園こども園の職員の交流を行う
- ・地域として何かできることを考える

委員のみなさんの日頃感じられている課題や問題点について、意見を出していただきました。すぐにどうにかなるというものではありませんが、課題として共有し、それを何とかできないかみなさんと方策を練っていくこととなります。

まだ1回目で、はっきり方向性が出されたわけではありませんが、地道に協議を重ねて、めざす子ども像の実現や様々な課題の改善向上に向けて、少しずつ歩みを進めていきます。



## 【学びの庭】 元日本代表選手来校 堀之内小6年生



元ソフトボール日本代表の渥美選手が学校に来て指導してくれました。6年生にキャッチボールの基本を教えてください、実際に目の前で代表児童とキャッチボールをして見せてくれました。

実技の後には、渥美選手にたくさん質問して、いろいろ教えてもらいました。日本代表選手との貴重な体験の場を持たせてもらえました。

## 【学びの庭】 地元企業から学ぶ 加茂小5年生

地元にある農薬を研究開発するクマイ化学工業の方が来て、農業の学習をしている5年生に出前講座を行いました。米作りに使う農薬のことやよりよい農薬の開発について話していただきました。水がはってあるところに農薬をまくと、自ら動き回り、まんべんなく散布できるという「豆つぶ剤」を水槽で実際に見せてもらいました。



## 【学びの庭】 横地氏の話 横地小6年生



八幡宮宮司の落合様に来ていただいて、横地氏についてお話を伺いました。地名にもなっているとおり、横地氏はこの地域で大きな勢力を持ち、450年にわたり横地地区を治めていました。

このように長期間この地を治めることができたのは、一族が戦に強く学問ができて優秀であったため、敵から攻められることがなかったからであるということでした。

## 【学びの庭】 自然教室堀之内小と交流 内田小5年生

観音山少年自然の家での自然教室で、堀之内小学校の子どもたちと交流しました。到着してすぐの出会いの集いでは、自慢のあいさつとソーランを披露しました。時間が経つにつれて交流が深まっていきました。また、二日目雨で山頂登山ができない時、レクリエーション系の進行で、「貨物列車」や「猛獣狩りに行こうよ」を行いました。中学校に進学したとき、スムーズにふれあうことができそうです。



## 【学びの庭】 環境プロジェクト 菊川西中



中学生主体の地域をよりよくする活動として、「あいさつ、環境美化、防災」のまちづくり3大プロジェクトを行っています。今回は環境美化として、あらかじめ地域の方と協議の上、公園や菊川土手のゴミ拾いなどに取り組みました。地域の方々とふれあいながら活動を進めることができ、地域への愛着を高めることができました。